

# 11分科会で討論し方針深める



LINEを活用した情報伝達の取り組みでの経験を発言する文京の仲間

## 組織分科会

議長：渡辺勝二 (北)  
〃：山口亮祐 (西多摩)  
書記：濱 徹 (西多摩)



山口議長

## 年間拡大運動を前進

### 新・3つの組織活動を確認

東京土建第72回定期大会2日目の午前中は、「聚楽」と「川良」の2つのホテルに分かれて、11の分科会を開催。昨年度の運動を総括し、各支部でのすぐれた活動について

交流した上で、組合員と家族の仕事と暮らしを改善させ、建設産業を民主化し、憲法と平和を守る運動方針を確認しました。それぞれの内容を4〜7面でお知らせします。

参加者は代議員50人、代議員以外の参加者20人、来賓6人と松丸委員長の合計77人でした。

中村組織部長、熊切専従常任、沼口専従常任待遇、加藤シニア友の会長が分担して議案を提案しました。経過で

は、策定4年目となった3つの組織活動を振り返り、「仲間のつながり夏の大会」や「土建タイムス」行動の実施など、各支部の経験と教訓を具体的に示しながら報告されました。

方針では「新・3つの組織活動」「課題克服の共有」を要し、「年間目標達成に団結し、年間拡大運動を前進させる」「事業所の仲間の結束策の発展」「全世代型組織に

向け、次世代継承活動を進める」ことが提案されました。議案の補強として、文京・磯貝委員長より「事業所の仲間結集にむけての取り組みについて」、江戸川・川島組織部長より「増やして減らさない組織づくり」、府中国立・松本組織部長より「目標をやり切る覚悟と人が集まる組織に向けて」、西東京・上野組織部長より「仲間を増やす、そして活動する仲間を増やすための到達を高めたい」と、以上4支部の経験報告がありました。質疑・討論の要旨は次のとおりです。目黒・

## 町場は改善いまだ トイレはコンビニ、公園

【世田谷】  
・大工・植松和文記  
大工になり52年目を迎えるようになっています。43年くらい前に青年部では週休制を求めた運動をしたことを思い出しました。



植松さん

金が目減りしてしまうということを議論していた記憶があります。設計労務単価が引き上げられても、まだ末端までには行き届いていないのが現状です。人並みに週休2日を取り上げが最低条件になると考えます。

り週休2日の実現が近づくのではないかと思います。また現場の労働環境は野田、新工場等では改善が進んでいる気がしますが、自分の職域である戸建てリフォーム現場ではまだまだ遅れています。仮設トイレは設置できず、コンビニや公園に車で向かうのが当り前の毎日です。

## 白熱した議論にびっくり



桑本さん

【多摩・稲城・ハウスクリーニング・桑本幸彦氏】今回、支部の常任の方からお誘いいただき、右も左も分らないまま参加させていただきました。私は普段、所属分科会副会長をしております。こんな私が参加しても大丈夫なんだろうかと思っていました。が、定期大会とはどんな感じなのか知ることが良かったです。ないかと思ひ、勇気を持って参加しました。

## 大会に参加した仲間たちの感想

今では当たり前になってきましたが、そのころは日雇いのため、週休することにより賃

企業の内留保を吐き出させるとともに、法定福利費の支給を法制化させることによ

る、④厚生年金適用と健保適用除外の要件緩和を求めるところを提起しました。

改善への国民の怒りは拡がっており、宣伝行動でさらに世論喚起する必要がある、共闘団体と検討したいと回答しました。また、事業所の土建健診利用や事業所健診の結果提供申請について周知が進まない状況が報告され、執行部は、国保ガイド・事業所セツトを活用し、従業員の健康づくりを事業所に動機づける取り組みを進めてほしい、特定健診・個別健康サポートの促進は、仲間の健康を守るとともに、医療費の削減・国・都からの補助金確保など国保組合を守ることに繋がるため積極的な呼びかけをお願いしたいと答弁しました。

## 社会保障対策分科会

議長…伊藤勝伸 (渋谷)  
〃…富樫康弘 (江東)  
書記…後藤哲哉 (江東)

## 現行水準の補助金を

### 地域社保協と連帯して活動



国保制度説明での要望をする目黒の仲間

社会保障対策分科会は、代議員28人、代議員以外27人、来賓3人(全建連松尾社保対部長、盛岡建芳右京組合長、



富樫議長

山形県連井上書記長)の合計58人で開催されました。石村社保対部長のあいさつ、議長選出の後、昨年の運動の経過と到達、社会保障をめぐる情勢、今年度の運動方針が提案され、続いて国保組合、国保対策の取り組みについて報告がありました。

今年度の運動方針として、①社会保障の改善を許さず拡充を求める、②建設国保育成強化と補助金の現行水準確保を目指す、③保健対策推進活動として特定健診受診・個別健康サポート利用を促進す

発言がありました。東京社保協とともに毎月実施している社会保障拡充・集約宣伝について円滑に宣伝行動ができるよう調整してほしいとの要望があり、執行部は、社会保障